米子工業高等専門学校広報誌

彦名通信

No.150
平成19年10月

ハンドボール部　全国高専大会2連覇達成

陸上部―全国高専大会男子100m優勝

テニス部　インターハイ出場

目次 CONTENTS

イベント特集
- 学生主事より …… 2
- 主な成績一覧 …… 2
- クラブ別報告 …… 3・4
- エンジョイ科学館 …… 5
- オープンキャンパス …… 6・7

クラス便り
- 4年機械工学科 …… 8
- 4年電気情報工学科 …… 8
- 4年電子制御工学科 …… 9
- 4年物質工学科 …… 9
- 4年建築学科 …… 10
- 専攻科1年 …… 10

クラブ便り
- クラブ紹介 …… 11
- 活動報告 …… 11

学生会便り
- 学生会長より …… 12

寮生会便り
- 寮行事紹介 …… 12

研究活動
- 研究紹介 …… 13
- 専攻科生の研究紹介 …… 13

トピックス
- トピックス …… 14・15
- 後期行事予定 …… 15

地域交流
- 公開講座・出前講座報告 …… 16

イベント特集

体育系クラブ　各種大会報告

学生主事　一般科目　山藤　良治

本年度の高専体育大会は、中国地区大会が７月６～８日に徳山高専を主管校、呉・大島高専を協力校として、山口・広島両県を会場に開催されました。米子高専は指導教員・コーチ、選手、応援学生の総勢293名の選手団で全13競技にエントリーし、全国大会出場を目指して戦いました。その結果、ハンドボールの優勝、バドミントン男子の団体・個人全種目制覇をはじめ、団体種目２種目、個人種目10種目に優勝という、近年にない好成績を挙げました。また、ソフトテニス、卓球の男子団体はいづれも準優勝でしたが、大接戦となった決勝戦は、米子高専の実力を十分に見せてくれた見事な戦いぶりで、悔しさは残るものの、来年以降の活躍が期待できる試合内容でした。

８月17～26日に四国地区で開催された全国大会には、７競技に総勢87人が参加しました。ハンドボールは念願だった２連覇を達成、陸上競技の男子100mでは３Ｄ遠藤俊君が優勝。遠藤君は200mでも２位に入りました。個人種目は、陸上競技のほか、卓球、水泳、テニスの各競技で入賞を果たしました。また、オープン競技ながら剣道女子は団体戦で３位入賞。残念ながら入賞できなかったバドミントンも、３年生中心の部員たちは来年への手応えを感じているようでした。

来年度の全国大会は北海道で開催されます。選手たちが夏の北海道を目指し、精進してくれることを期待します。

主　な　成　績　一　覧

■中国地区高専体育大会
（平成19年7月6～8日）

●陸　上
団　　体　４位
男子100m　２位　３Ｄ遠藤俊
男子200m　１位　３Ｄ遠藤俊
男子400m　１位　４Ｅ森智広
男子４×100mＲ　２位
　２Ｄ番原・３Ｅ小松・３Ｄ遠藤・４Ｅ森
男子４×400mＲ　１位
　３Ｅ小松・３Ｅ冨山・３Ｄ遠藤・４Ｅ森
女子100m　３位　２Ａ浦冨明日香
女子走幅跳　２位　２Ａ浦冨明日香

●バスケットボール　男　子　３位

●バレーボール
男　　子　予選敗退
女　　子　４位

●ソフトテニス　男子団体　２位

●卓　球
男 子 団 体　２位
男子シングルス　１位　２Ｅ黒見晃平
男子シングルス　２位　３Ｍ河野芙雅
男子ダブルス　１位　３Ｍ河野・３Ｄ大畑

●柔　道　男　子　予選敗退

●剣　道
男 子 団 体　４位
女 子 団 体　３位
女 子 個 人　２位　４Ａ生田朗子

●水　泳
団　　体　５位
男子100m背泳　１位　１Ｄ武良優輝
男子100m平泳　１位　１Ａ村尾太一
男子200mバタフライ　２位　５Ｃ山田翔平
男子200m個人メドレー　３位　１Ｄ武良優輝
男子400mメドレーリレー　１位
１Ｄ武良・１Ａ村尾・１Ａ山﨑・５Ｃ山田翔

●硬式野球　男　子　１回戦敗退

●サッカー　男　子　Ａパート２位

●テニス
男 子 団 体　１回戦敗退
男子ダブルス　２位　5E中原弘･5D石田了
女子シングルス　２位　４Ｃ瀬田梢

●ハンドボール　男　子　優勝

●バドミントン
男 子 団 体　優勝
女 子 団 体　３位
男子シングルス　１位　３Ｅ下田諒
男子ダブルス　１位　3E下田泰樹･3E下田諒
女子ダブルス　３位　２Ｃ福田・２Ａ田淵

■全国高専体育大会
（平成19年8月17～26日）

●陸　上
男子100m　優勝　３Ｄ遠藤俊
男子200m　２位　３Ｄ遠藤俊
男子400m　予選敗退　４Ｅ森智広
男子４×100mリレー　６位
　１Ｄ古磯・２Ｄ番原・３Ｄ遠藤・４Ｅ森
男子４×400mリレー　予選敗退
　２Ｅ冨谷・３Ｅ小松・３Ｅ冨山・４Ｅ森
女子走幅跳　14位　２Ａ浦冨明日香

●卓　球
男子シングルス　予選敗退　２Ｅ黒見晃平
男子シングルス　予選敗退　３Ｍ河野芙雅
男子ダブルス　２位　３Ｍ河野・３Ｄ大畑

●剣　道
女 子 団 体　３位
女 子 個 人　１回戦敗退　４Ａ生田朗子

●水　泳
男子100m背泳　予選敗退　１Ｄ武良優輝
男子100m平泳　３位　１Ａ村尾太一
男子200mバタフライ
　予選敗退　５Ｃ山田翔平
男子200m個人メドレー
　予選敗退　１Ｄ武良優輝
男子400mメドレーリレー　予選敗退
　１Ｄ武良・１Ａ村尾・１Ａ山﨑・５Ｃ山田

●テニス
男子ダブルス　２回戦敗退
　５Ｅ中原・５Ｄ石田
女子シングルス　３位　４Ｃ瀬田梢

●ハンドボール　男　子　優勝

●バドミントン
男 子 団 体　１回戦敗退
男子シングルス　２回戦敗退　３Ｅ下田諒
男子ダブルス　１回戦敗退
　３Ｅ下田泰樹・３Ｅ下田諒

■その他の大会等

●ヨット（国体予選）
国体出場決定　２Ｃ木下・２Ｄ田邊

●高校野球（鳥取県大会）１回戦敗退

●テニス（インターハイ）
男子シングルス　１回戦敗退　３Ｄ竹本博樹

●陸　上（インターハイ）
男子100m　予選敗退　３Ｄ遠藤俊

●卓　球（インターハイ）
男子シングルス　１回戦敗退　３Ｍ河野芙雅
　３Ｄ大畑諒輔

●ラグビー（県総体）
Ｂパート優勝

空　手　部

ソフトテニス部

サッカー部

祝勝会の様子

祝勝会の様子

ハンドボール部

キャプテン　5M　高力　功

昨年、全国大会を優勝したことからチーム全体が大きなプレッシャーを感じていました。昨年のレギュラーが多く残っていたために、結果を出さないといけない、という気持ちが大きかったように思います。先輩たちのできなかった全国大会連覇、それは「打倒米子」と思って練習してきた他高専に勝利するとともに、自分たち自身との戦いでした。

試合に勝っても満足できず、素直に喜ぶことのできない状態…。その中で始まった全国大会でした。予選リーグ、準決勝とチームの状態は良くありませんでした。決勝戦の直前、試合をもっと楽しめとアドバイスをくれたのはＯＢの方々でした。決勝戦では、前半はミスもあり同点でしたが、一人一人の動きは今までと違っていました。そして、努力してきた自分たちの力、仲間を信じて試合ができました。後半、ディフェンスが良くなり、速攻も決まって相手の豊田高専を突き放し連破の夢を成し遂げることができました。

自分自身は、一年間キャプテンをして孤独になることもあったのですが、ＯＢの坂田邦明コーチに助けていただき感謝しています。また、喜怒哀楽を共に分かち合い最後まで一緒にやってきた仲間にも感謝しています。お世話になった顧問の先生方や米子高専の方々、色々と協力いただいた県ハンドボール協会、練習試合をしていただいた各チームの方々、温かく自分たちを見守ってくれたＯＢの方々全員に感謝しています。

◆全国高専大会　優勝　◆中国高専大会　優勝

卓　球　部

顧問　電子制御工学科　河野　清尊

この夏（６月～８月）の主な大会結果を報告します。

■第54回中国高校卓球選手権大会

６月15日～17日　島根県立浜山体育館

〈男子学校対抗〉　ベスト８

１回戦　米子高専○３－２×平田高校（島根）

２回戦　米子高専○３－１×徳山高専（山口）

準々決勝　米子高専×１－３○関西高校（岡山）

〈男子ダブルス〉　３回戦敗退　３M河野・３D大畑組

〈男子シングルス〉　１回戦敗退　３M河野

男子学校対抗で徳山高専との夢の高専対決が実現し、勝利してベスト８に入ることができました。

■中国地区高専体育大会

男子団体は３年連続で徳山高専との決勝戦でしたが、大接戦の末に２－３で敗退しました。しかし、男子ダブルス優勝、男子シングルス優勝・準優勝と、徳山高専との力の差は縮まってきたので来年こそは団体優勝！！

■インターハイ

男子シングルスに出場した二人とも、雰囲気に呑まれてリキんでしまい、持っている力を出し切れずに終わりました。しかし、貴重な経験を積むことができました。

■全国高専体育大会

男子ダブルスはインターハイでの二人の経験が生かされ、初戦の接戦を制して決勝まで進むことができました。ダブルスもシングルスも優勝した一関高専の滝浦双子兄弟と対戦することができ、敗れはしたものの来年に向けての新たな目標をつかむことができました。

◆全国高専大会　男子ダブルス　2位　他
◆中国高専大会　男子シングルス・ダブルス　1位　他

水　泳　部

1A　村尾　太一

僕は初めての全国大会で３位入賞することができました。この大会の目標は予選を通過することだったので、自分でも驚く成績でした。このような成績を挙げることができたのも応援してくれる仲間がいたからだと僕は思います。レースの序盤、僕は他の選手より遅れをとっていました。もうだめかもしれないと思った瞬間、かすかにみんなの声援が聞こえてきて、最後まで諦めずに泳ぎきることができました。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。今後はさらに上を目指していきます。

◆全国高専大会　男子100m平泳　3位　他
◆中国高専大会　男子100m背泳、男子100m平泳、男子400mメドレー　1位　他

テ ニ ス 部

キャプテン　5D　石田　了

テニス部は呉で開催された中国地区高専体育大会に出場し、団体戦は残念ながら１回戦敗退という結果でしたが、個人戦では男子シングルスで竹本が３位、男子ダブルスで中原・石田が２位、野出・鶴田が３位、女子シングルスで瀬田が２位という結果で、中原、石田、瀬田が全国大会への出場権を獲得しました。

全国高専体育大会は香川で開催されました。自分達の力は出し切れたと思いますが、残念ながら２回戦敗退という結果でした。しかし、女子シングルスで瀬田が３位という好成績を残してくれたので良かったです。

また竹本が、鳥取県高校総体の男子シングルスで優勝という素晴らしい結果を残し、見事インターハイへの出場権を獲得しました。インターハイでは残念ながら１回戦で負けてしまいましたが、この経験を今後に生かしてくれると信じています。

今までテニス部を支えてくださった、教職員の皆様、部員の家族の皆様、OB・OG、BSCの方々には本当に感謝しています。今後も新キャプテンを中心に高い目標に向かって頑張っていくと思いますので、これからも応援よろしくお願いします。

◆全国高専大会　男子ダブルス　2回戦敗退、女子シングルス　3位
◆中国高専大会　男子ダブルス　2位、女子シングルス　2位　他

ラグビー部

3D　新田　将貴

僕達は高校生の最後の大会でパート優勝という結果をおさめることができました。本当は15人制の試合をしたかったですがチームのメンバーが少ないので、７人制の試合となってしまいました。しかし、みんなやる気を出し、優勝へ向け一人一人が高い意識を持って練習に取り組みました。高専のラグビー部の良い所は、僕達３年生以下がメインで練習をする時に４、５年生の先輩が練習に付き合ってくださる事です。大会前には先輩の胸を借り、相手をしてもらって本番さながらの練習ができました。

大会当日は、練習に付き合ってくれた先輩、面倒を見てくださった監督・コーチ・先生方そして何より自分たちの為に全力で戦いました。僕は初めから優勝しか見ていませんでした。そのために厳しい練習をしてきたと思っています。僕は楽しんで試合をする事ができました。そしてこの大会は良い思い出になりました。本当に優勝ができてよかったと思います。

◆県総体　Ｂパート優勝

陸　上　部

顧問　一般科目　南　雅樹

Ⅰ．中国地区高専大会【徳山大学：山口県】

目標とした対校得点の総合２位は果たせなかったが、個々の種目で自己記録を更新する者も多く、何よりもリレー２種目の全国高専大会出場を勝ち取ることができた（参加資格者は３名から11名へ大幅増）。特に、４×400mリレーの優勝は本校初のことであり、アンカーの４Ｅ森主将がゴールした瞬間、部員全員がこの快挙に喜びを爆発させた。

Ⅱ．全国高等学校総合体育大会：インターハイ【佐賀市】

地区予選の中国高校総体の100m決勝で自己新記録を出し、3／1000秒で出場権を勝ち得ての佐賀入りであった。疲労骨折の疑いや台風接近などもありコンディション作りに苦労した大会となった。自己記録更新で予選通過を目標としたが、準決勝進出はならなかった。しかし、中国地区を代表して出場した他５名の結果と比較すれば、地区予選の順位以上に善戦したと言える。

Ⅲ．全国高等専門学校体育大会【徳島県鳴門市】

３Ｄ遠藤が昨年の雪辱を果たし、男子100mで優勝、すなわち全国高専最速スプリンターの称号を勝ち取った。また、惜しくも100mに続く２冠はならなかったが、200mも昨年の３位を上回る２位で表彰台に上がった。４×100mリレーも予選からチーム記録を更新し、６位入賞を果たすことができた。対校得点はベスト10に入り、中国地区でも松江高専に次ぐ内容で、地区大会を大きく上回る成果を得た。来年、函館の地でさらに入賞者を増やし、対校得点が上位になるよう期待したい。

◆全国高専大会　男子100m　優勝　男子200m　2位　他
◆中国高専大会　男子200m、男子400m、男子4×400mR　1位　他

剣　道　部

顧問　電気情報工学科　松原　孝史

みかんで有名な伊予の国に、坊ちゃんスタジアムを中心としたとてつもないスポーツ施設がある。今大会は、この施設内にある、屋根瓦32万枚の巨大木造武道館で行われた。建物に度肝を抜かれたが、もっと驚いたのは、選手５人が自前のそろいのユニフォームで現れたことだ。全国大会にかける意気込みを大いに感じ、もしかしたら…の期待が脳裏に浮かんだ。

試合前のウォームアップでは、普段の練習以上に声が出て、打ちも冴えていた。興奮のあまり鼻血を出す子もいて、相当気合が入っていた。予選は、岐阜、新居浜との３校リーグで、岐阜には全員が勝ち、新居浜には辛勝であったが、順当に準決勝に進んだ。しかし、予選リーグで主戦の選手の動きに今一切れがない。準決勝の相手は、地区大会で負けている徳山高専である。手に汗握る戦いとはこのことで、接戦が続いた。代表者戦までもつれたが惜敗してしまった。３位には満足していないが、全力を出し切った選手の頑張りには満足している。毎年優勝している鈴鹿の背中が見えてきたので、来年こそ鈴鹿と戦いたい。

帰りのバスの中、選手たちは元気を取り戻していた。みんな道後温泉の美人の湯に入ってきたらしい。なるほどと思った。

◆全国高専大会　女子団体　3位
◆中国高専大会　女子個人　2位、女子団体　3位　他

バドミントン部

3Ｅ　下田　泰樹

バドミントンの中国大会は徳山でありました。男子は、団体優勝、ダブルス優勝、シングルス優勝とすべての種目で優勝することが出来ました。全国大会は新居浜でありました。団体は１－２と惜しくも初戦敗退、ダブルスも粘ったが初戦敗退、シングルスは初戦を突破しベスト８になりました。団体は昨年の地区大会の決勝で悔しい思いをして、その時から練習してきた成果が優勝という結果に結びついたのではと思いました。

女子は、今年から始まった団体種目で３位、ダブルスで３位と去年よりもよい結果を残すことが出来ました。女子も、真面目に毎日練習してきた成果が出たのではと思いました。

サポートしてくださった顧問の先生、コーチ、そして応援してくださった方々、本当にありがとうございました。これからも更にいい結果を残せるように頑張るので応援よろしくお願いします。

◆全国高専大会　男子団体　1回戦敗退、男子シングルス　2回戦敗退　他
◆中国高専大会　男子団体　優勝、男子シングルス・ダブルス　1位　他

ヨ ッ ト 部

顧問　物質工学科　里村　武範

米子高専ヨット部は昭和45年の創立、全国の工業高専の中で唯一ヨット部のある高専です。様々な種目分野で活躍してきましたが、近年は部員不足のため若干苦しい活動状況が続いていました。しかし、昨年度に３名、本年度に２名の部員が入り、全国大会などで優秀な活躍を挙げています。

６月に行われた県高校総体ではＦＪ級（２Ｅ菅原明徳君、２Ｄ田邊良君）で優秀な成績を収め中国大会出場権を獲得しました。残念ながら全国総体への切符は獲得できませんでしたが今後の活躍が期待されます。２Ｃの木下瑞さんは７月７、８日に開催された国体予選会において昨年度に引き続き、みごと国体への出場権を獲得することができました。現在は専攻科生１名、５年生３名、２年生３名、１年生２名の計９名の学生が学外コーチ１名の指導のもと境高校、境港総合技術高校と境港公共マリーナで日が暮れるまで練習を行っています。

◆国体出場決定

野　球　部

キャプテン　3C　小谷　圭介

３年生の僕らにとっては最後の夏を迎えた。相手は強豪の八頭だった。結果は０－７と大敗。しかし僕たちは点差がはなれても応援団の声援もあり、試合終了まで一度も諦めることなく戦った。

僕は野球を通じて多くのことを学ぶことができた。勝つことの難しさなどたくさんあるが、今僕の頭に浮かぶのは「感謝」という言葉だ。毎日あたりまえのように野球ができていたが、監督、部長、顧問の先生、保護者の方々、家族の存在など多くの人に支えられて今まで野球を続けることができました。本当にありがとうございました。

これからも米子高専野球部は続き、より一層いいチームになっていくので、応援よろしくお願いします。

◆全国高校野球鳥取県大会　１回戦敗退

エンジョイ科学館

これは子供達の「科学離れ」への対策として中学１、２年生を対象として本校で続けている催しです。今年は８月６日に開催し34人の参加者がありました。本校の学生による丁寧な指導が毎年好評を得ています。

機械館

「センサーロボットを作ろう」

- 始めは、動かなかったからハラハラしたけど、最後はできてとてもうれしかった。
- 「自分で作った！」という達成感を感じました。次回もできれば参加したいです！

電気情報館

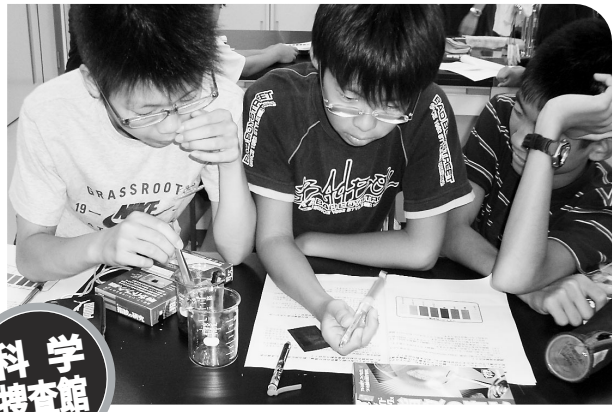
「ボクシングロボットの製作と対戦」

- やさしくおしえてもらえて、良かった。また機会があれば参加したい。
- いろいろな工夫ができたからおもしろくて良かった。

電子制御館

「ブレッドボードで電子回路を組み立てよう」

- ラジオがすごかった。ブレッドボードが増えてよかった。
- ラジオを作ったりして楽しかった。



科学捜査館

「ＤＮＡ鑑定で犯人を捜そう」

- ＤＮＡは少し難しかったけど質問したら分かりやすく説明下さったから良かった。
- 楽しかったし、夏休みの自由研究になって良かった。

建築館

「君も家具デザイナー」

- イスを作るのが楽しかった。
- イスを作るのは、少し難しかったけど、とても楽しかった。

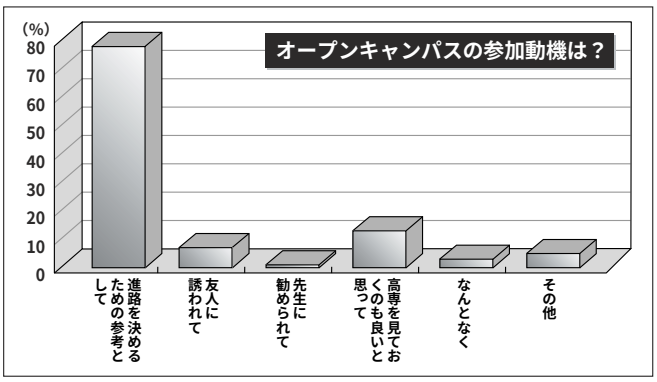
理科館

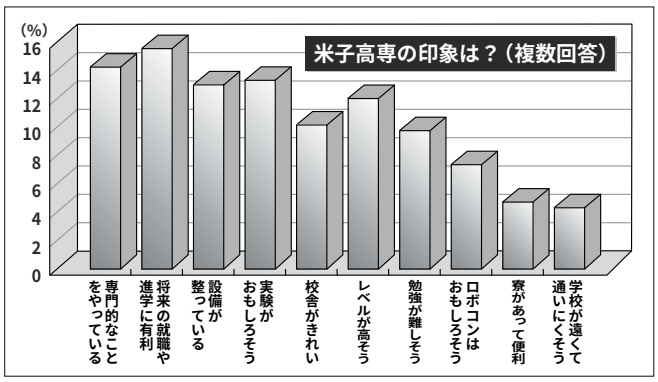
「マイ・プラネタリウム作り」

- とても楽しかった。
- 高専の先輩がいて優しくしてくれて良かった。

オープンキャンパス（学校見学会）

８月10日に中学３年生を対象として開催し、中学生382人、保護者および引率者62人という多数の参加をいただきました。学校全体の概要説明の後、希望する学科の見学、実習体験を午前、午後に分けてしてもらいました。当日の様子をアンケート調査結果とあわせてお知らせします。





■ 機械工学科

ものづくり体験（文鎮の製作）

コンピュータを利用したファン設計等の説明

レーザー光を使って流体の流れを見る実験

ロボットコンテストの設計製作およびデモンストレーション

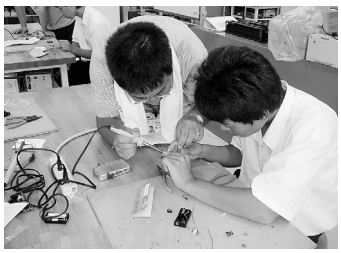
■印象に残ったことは？

- 設備が整っていてとても快適に作業ができそうだった。
- 難しそうなものもたくさんあったけど、とても楽しい学校だと思いました。
- 思っていた学校と全然違っていて、おもしろそうだと思いました。
- 説明する人が積極的に話をしたりしていて、学校に好意が持てた。

■ 電気情報工学科

小型風力発電機

電動スクータ



降雨警報機の製作

■印象に残ったことは？

- 普通の高校とはぜんぜん違うということがよく分かりました。
- 色々見学できて、とても有意義な時間だった。体験でモーターを回すファンの製作が楽しかった。
- プログラミングはたくさん間違ったけど、ちゃんと打てば、成功したので良かった。
- 色々と実験をして、人工的に雷を作ったのがすごかったです。

■電子制御工学科

電卓機能をプログラムする実習

磁気量のA／D変換デモ実験

開発中の非侵襲血糖値測定装置の体験

■印象に残ったことは？

- ロボットとか脳波の研究とか色々なことに力を入れているなあと感じました。
- いろんな質問にもしっかり答えてくれ非常にわかりやすかった。
- 今の僕にはとても未知の世界ばかりでしたが、面白そうだった。
- はじめて専門的なことを体験できて面白かった。

■物質工学科

計測機器によるアルコールの測定

液の色が複数変化する振動反応の実験

液体窒素にテニスボールを入れる

■印象に残ったことは？

- 色々な実験をやらせてもらったので、とても楽しく学べたので良かったです。
- 色々な設備が整っていて今まで見たこともないものや実験などが楽しかった。
- 進学や就職に有利なので、とてもよいところだと思いました。
- 校舎がきれいだし、設備も整っているので、勉強しやすいと思った。

■建築学科

ＣＡＤで住宅の透視図を作成

紙を折って本を載せる

鉄筋の引っ張り試験

■印象に残ったことは？

- 教室らしい場所ではなく、変わった形での活動場所が多くて面白いと思いました。
- こうやってビルとか建物ができるんだなあとわくわくもしたし、感激した。
- 実験とパソコンを使って体験をするときに丁寧に教えていただき、分かりやすかったです。
- 勉強とか大変なのかと思っていたけど、なんだかリラックスして集中してできそうだった。

クラス便り

4年　機械工学科

担任　森　田　慎　一

夏休み中のインターンシップは、規定日数を超える長期間実習、海外への実習参加など充実したプログラムを経験できました。半年後に始まる就職・進学試験に向け、進路決定のための貴重な体験ができ、真剣さが増したように感じられます。得られた経験を今後の学生生活に活かしてもらいたいと思います。

高専祭の機械工学科展（11月）にて公開する“蒸気機関”も近日完成です。皆さん見学に来てください。（4M高専祭委員一同より）

大学インターンシップを経験して　石　橋　利恵子

私はインターンシップで豊橋技術科学大学に行ってきました。大学と高専で一番違うなと思ったことは、先生と学生の距離です。大学は１つの研究室に学生が20人もいて、実習期間中の指導も研究室の学生さんでした。実習ではMg合金の表面処理の実験をしました。実験をして結果が出て終わりでなくて、何故そうなるかを考えるのが研究だということを教えてもらいました。来年から卒業研究が始まるので、この体験を生かしていきたいと思います。

企業インターンシップを経験して　清　水　悠　司

私は、岡山県の総社市にある、日本を代表する繊維メーカー、ユニチカのグループ企業であるユニチカテキスタイル株式会社常盤工場（岡山県総社市）にお世話になりました。そこで、主に製品として完成する前工程のマシン修理、改造をさせて頂きました。短期間でしたが、普段の生活では経験できないことを学び、感じることができました。この経験を活かし、今後はより濃い学校生活をおくって行きたいと思います。

4年　電気情報工学科

担任　西　尾　公　裕

夏休み中に、企業や大学で校外実習を行いました。多くの学生は、技術者としての厳しさや楽しさを経験し、より深い専門技術を身につけてきたように思います。このような体験を活かしつつ、今後もいろいろなことに挑戦してほしいと思います。

このクラスの皆さん、高専生活も残り１年半になりました。そろそろ、将来のこともよく考えてみましょう。

現在このクラスの学生が製作している“イライラ棒”が、11月の高専祭の電気情報工学科の科展で公開される予定です。皆さん見学に来てください。

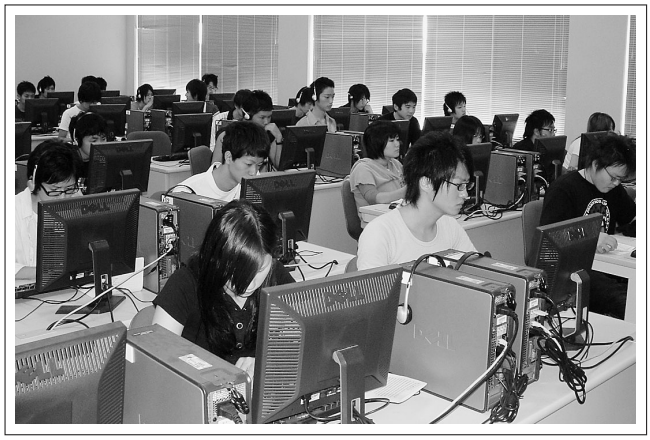
4年生になって…　竹　縄　　潔

高専に入学して早四年、思えばあっという間のことでした。1年、2年、3年とやってきて今思うのは、残された学生生活もあとほんの少ししかないということです。それと同時に、夏休み中に行われたインターンシップに行ったことにより、自分の将来の方向性や自立への意識が高まってきました。実際に本物の企業に触れることにより、その仕事への興味や、自分は本当に何がしたいかを考えさせられました。卒業までの残された時間を、後悔のない様に色々なことと向き合って生活していきたいと思います。

インターンシップを経験して　堤　　沙代子

私は今回のインターンシップで株式会社オムロンへ行きました。私はそこで、プログラミングに関する実習を行いました。会社に行くまでは、プログラミングに対して苦手意識が強かったのですが、実習を行うことによって少しずつ興味を持ち始めました。このことをきっかけにして苦手なことも含め、色々なことに挑戦していきたいと思っています(^-^)

4年　電子制御工学科



担任　中　山　繁　生

夏季休業中に実施されたインターンシップは全員が無事に終了し、担任としてはとりあえず安心しています。受入企業のご協力により、学生の中にはエンジニアとしての将来像を明確にできた者もいると感じています。話題は変わりますが、順調に行けば学生生活は残すところ１年半です。意外と早く過ぎ行く日々を、充実したものにしてください。

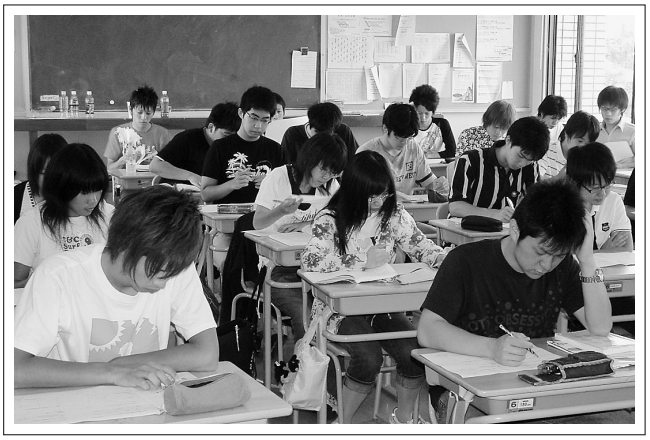
インターンシップを終えて　宇　田　彩　夏

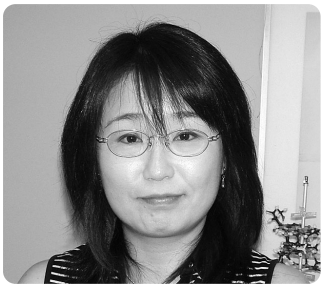
今回私がお世話になったのは大阪シーリング印刷株式会社という企業です。シールの印刷・加工が主な事業内容で、私が配属された部では雇用者の多くがパートの年配の女性でした。一人の労働者としてその場に立つことで、「技術者」としてというより、まず「労働者」として企業に貢献してゆくことの大変さ、大切さを学ぶことができました。

インターンシップの感想　森　田　　翼

今回、僕はコベルコシステムでインターンシップを行いました。普段会社に行くという機会は無いので、初めはとても緊張しました。でも、日にちを重ねるごとに会社の方々とも話せるようになり、同じようにインターンシップに来ていた他の高専の人とも仲良くなれました。インターンシップを通して、学校では出来ない体験を数多くする事ができ、職場で働く人々の生の声が聞けたので、今後の勉強や就職の参考にしていきたいです。

4年　物質工学科





担任　田　原　麻　里

本年度もクラス全員がインターンシップに参加し、無事実習を終えることができました。実習先は、大学の研究室、県の研究機関、県内外の企業と多岐に渡り、実習内容も様々でしたが、みんな一様に、社会人としてのマナーとコミュニケーション能力を身につけて帰ってきたように感じられます。実習を通して学んだ多くのことを、今後の生活に大いに役立ててくれるものと期待しています。

インターンシップを終えて　清　水　優　実

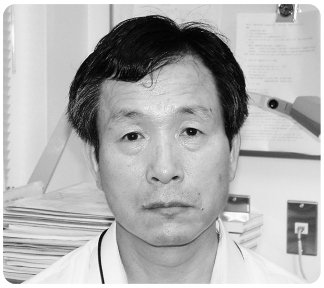
私は８月５日～10日まで三菱化学水島事業所で実習を行いました。主な内容は講義・職場見学が中心で、現場で働いておられる方に色んなお話をしていただきました。講義以外に、挟まれ・巻き込まれ講座など体験学習もあり、製造業で起きやすい災害について自分の身をもって学ぶことが出来ました。最終日にはテーマ検討・発表があり、実習生全員で検討・発表を行いました。

今回の実習は、学校では勉強出来ない事がたくさんあり、とても有意義なものでした。

インターンシップ　平　野　孝　祐

今回のインターンシップで、長岡技術科学大学の反応物理化学研究室（小林研究室）で５日間研修を受けました。研修では、主に二つの実験を行い、他にも研究中の内容や実験について講義等して頂きました。実験内容が初日は理解できず、何をやっているのかわからなかったのですが、研究室の皆さんの指導により、徐々に理解することができました。他にも様々な実験機器の取り扱いや、新たな経験を数多く積むことができました。４、５日目には花火大会に連れて行って頂き、楽しい思い出になりました。研修での経験を生かし、来年の卒研に役立てたいと思います。

4年 建築学科



担任 片 木 克 男

よく、静かに話を聞くクラスであるとほめられる。その通りである。では建築分野に対する食いつきがいいかというと、のんびりしているのか、そうでもなさそうだ。４年生の目標は、「早めに進路を定めて、その準備に取り組む」である。夏休みのインターンシップでエンジンがかかったのでは、と密かに期待している。

インターンシップ体験記　辻　広志

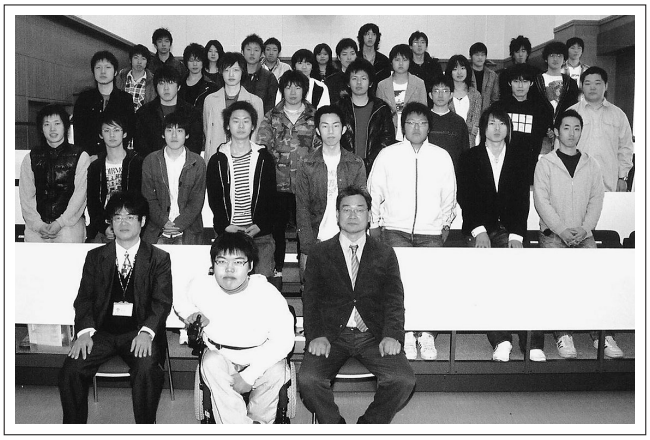
僕は施工に興味があったので、５日間、地元の建設会社美保テクノスが松江市に建設中の建物の現場を体験しました。事務所では、施工や現場の仕事について教わったり、また設計図の基礎部分の体積の計算の実習をしました。現場では、基礎の穴埋めから捨てコン打ち作業までの撮影補助の仕事をしました。このインターンシップで、普段近寄ることのできない現場に入り、いろいろと学ぶことが出来て大変よかったと思います。この経験を活かしてこれからも頑張りたいです。

インターンシップ体験記　水島有梨

私は町家や伝統工法に興味があり、それを学べるということでオープンデスクに応募し、12日間、大阪市にある（有）竹山建築設計事務所でお世話になりました。

現場見学とCAD設計が主で、また現場見学の帰りには、畳屋さん、建具屋さんなど関連する店に数多く連れて行ってくれて詳しく解説してくださったりと、とても勉強になりました。注意をされた事もありましたが、日頃の行動について改めて考えることができ、精神的にも大きくなれたと思います。

専攻科 1年



専攻科長　電気情報工学科
松 原 孝 史

高い志を持って、今春専攻科に35名も入学してくれました。これは、専攻科生の進路が就職、大学院進学とも好調なことに加え、研究を中心とした学生生活とゆとりのあるカリキュラム、少人数教育による密度の高い授業内容など、大学編入学に比べての専攻科の優位性が認識されてきたことによると考えています。

私も前期に「応用電磁工学」の授業を担当しましたが、受講生21名の目の輝きは、入学時のときも今も変わっていません。欠席が少ないのも、欠席３分の１条項の適用ではなく、勉学に対する意欲の表れだと思いました。スタートは順調です。更なる飛躍を期待します。

専攻科に入学して　生産システム工学専攻　角田佳祐

私は高専の電気工学科に入学し、１年生のとき情報処理の授業でＣ言語を習い、プログラミングに興味を持ちました。５年生の卒業研究では、Java言語を用いて並列処理システムを構築しました。私はさらに勉強したいと考え、専攻科を志望しました。

専攻科は、授業料が安く、馴染んだ環境で勉強できます。特に、授業料が安いことは専攻科の良い点だと思います。専攻科では、受講したい科目を選択することができます。私は電気とプログラミングをメインに受講したいと考えています。専攻科の講義は、オープンシアターで行います。スクリーンが大きく映画が見れそうなクオリティでした。抱負としては、学生の内に勉強して情報処理の資格を取りたいと考えています。また、研究に励みたいと思います。

専攻科に入学して　建築学専攻　南口洋樹

専攻科に入学してから早くも半年近く過ぎました。本科を卒業してからの専攻科への入学だったので環境の変化もほとんどなく、すぐに授業や研究に励むことができました。そして、専攻科は少人数制ということで専門的に密度の濃い授業を受けることができています。２年間という短い期間ですが、この素晴らしい環境の中で自分をさらに磨き、これからの進路につなげていきたいと思っています。

研究では、木質ブロック組積壁の基本構造性能評価実験を実施することによって、建築構造体として使えるかどうかのフィージビリティスタディを行っています。

バレーボール部　クラブ紹介

顧問　電子制御工学科　山本　英樹

バレーボール部には男子、女子の二つのチームがあり、第二体育館で合同で練習をしています。バレーボール競技では、男女のネットの高さが異なることから、同時に出来る練習が限られています。そのため、基礎的な練習を男女同時に行った後、時間を分けて男子、女子で個別の実践練習をしています。チーム練習等の実践的な練習時間は短いですが、男女とも短時間で大きな効果が得られるよう工夫や努力をし、また、男女の部員同士が助け合って練習をしています。

本年度の中国高専大会では、男子は予選リーグ１勝２敗で予選リーグを突破できませんでしたが、女子は予選リーグを突破し、４位という成績でした。来年は米子で中国高専大会が行われます。バレー部としては、日々の練習を充実させるとともに、米子市の６人制大会（一般の部）や鳥取県の大学、高校の大会に積極的に参加し、個人の能力とチーム力のレベルアップを目指していますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

茶・華道部　クラブ紹介

２Ｄ　大原健三郎

茶・華道部は７月21日に、毎年恒例である老人ホームの慰問で高砂苑の納涼祭に行ってきました。納涼祭は、茶・華道部にとって、高専祭や文化発表会と並ぶ大切な客前での御手前の日です。みんな浴衣に着替えて、部活での練習の成果を発揮することができました。茶・華道部は現在部員が８名という厳しい状況ですが、それでも週に一度、水曜日の放課後に和気藹々と練習をしています。男子学生もいますので、もし興味があるという方は気軽に体験に来てください。また、今年の高専祭では、今年度購入した新しい秋の茶碗があります。作法を知っている方でも、全く知らない方でも、お気軽に一服していただければ幸いです。また、毎週玄関に飾られている生け花も、私たち茶・華道部が週に一度、交代で生けさせてもらっています。高専祭においても、部員全員がそれぞれの生け花を、茶室に飾るので、一服して頂くついでに、是非見に来てください。

放送部　ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストに出場しました

顧問　一般科目　酒井　康宏

第53回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストに出場しました。鳥取県大会西部地区予選におきまして、朗読部門で１名、番組部門ではラジオドキュメント部門、ラジオドラマ部門、テレビドラマ部門の３部門で予選を通過、全国大会出場をかけて鳥取県大会本選に臨みました。全国大会には出場できませんでしたが、ＮＨＫの審査員の方から、朗読部門に出場された学生さんは、自分の世界を持っていて落選させるには大変惜しかったこと、ラジオドキュメント部門はもう１歩だったことなど講評していただき、大いに励みになりました。関係教職員の方々には心より感謝いたします。

合唱同好会　全日本合唱コンクール鳥取県大会に出場しました

顧問　一般科目　酒井　康宏

第46回全日本合唱コンクール鳥取県大会に出場しました。今年は中国大会が前期末試験中に開催され出場できないため、県内のみで金、銀、銅賞の各部門を競うＣ部門に出場しました。結果は銅賞に終わりましたが、団員一同夏休み返上で頑張りました。今後に期待したいと思います。関係教職員の方々には心より感謝いたします。

吹奏楽部　吹奏楽部の行事報告

顧問　建築学科　山田　祐司

●吹奏楽コンクール鳥取県大会

８月６日（月）に鳥取県民文化会館で標記のコンテストが開催され、吹奏楽部は大学の部に出場して金賞を受賞し、中国大会へ出場することになりました。（演奏曲目：課題曲―マーチ・ブルースカイ、自由曲―サスカッチアンの山（A.Reed））出場者数は23名でした。

●吹奏楽コンクール中国大会

中国大会は８月25日（土）に倉吉未来中心で開催されました。大学の部には中国５県から大学４団体、高専２団体（米子、松江）が出場しました。結果は銅賞でした。来年は銀賞以上を受賞できるようにこれからも練習に励みます。

文芸部　梅光学院大学文芸部賞を受賞

顧問　一般科目　平澤　信一

文芸部は、このたび第６回全国高校文芸誌（及び文芸創作）コンクールで、梅光学院大学文芸部賞を受賞しました。同コンクールは、全国の高校、高等専門学校などで発行されている20歳未満の若者の手による文芸部機関誌、総合文化誌などを対象に、梅光学院大学が主催しているもので、児童文学作家の村中李衣氏（同大教授）が選考委員長を務めています。米子高専が文芸誌部門に応募した「ＭＡＳＣＯＲＲＩＤＡ」vol.４は「豊かな言語感覚やことばの力をきたえるための創意工夫に満ちている」と評されました。７月14日（土）に山口県下関市の同大で行われた授賞式には、電気情報工学科４年の關さゆりさんと、物質工学科２年の西井ひとみさんが出席し、表彰式の後の懇親会では、選考委員の芥川賞作家・村田喜代子氏や同じく詩人・批評家の北川透氏などから直接、文芸創作についてのアドバイスを受けました。

学生会便り

前期を終えて…

学生会長　5D　吉田　亮介

球技大会

はやいもので、今年の学生会が発足してからもう半年が過ぎようとしています。これまで文化発表会、球技大会など、みなさんの協力のおかげで無事終えることができました。

この半年での経験、反省点を活かし、これからの行事ではもっともっとよりよい物をつくっていきたいと思いますので楽しみにしておいて下さい！

また新しい取り組みでも先日、文化局員を中心に行った高専周辺清掃活動では自由参加にもかかわらず１，２年生を中心に沢山の学生が参加してくれました。そこで下級生達が汗を流して拾っていたのは、上級生が出したたばこの吸殻などがほとんど…。彼らは何も言わずに拾っていましたが、僕は先輩としてすごく申し訳ない気持ちになりました。高専には未成年ではない学生も沢山いるので、「たばこを吸うな！」とは言いませんが、最低限のルールは守って欲しい。喫煙は決められた場所で！吸殻は灰皿へ！ついでにゴミはゴミ箱へ！

・・・なんかＴｈｅ会長っぽい（笑）

ところでみなさん、もう学生会長の顔は覚えましたか？

清掃活動

暑かった今年の夏も、あっという間に過ぎ去り、朝夕涼しくなってきましたね。みなさん楽しい夏休みの思い出はできましたか？部屋に引きこもり、ひとりでコソコソしていた君！ひと夏のアバンチュールに終わり、隣がすっかり涼しくなっちゃった君！そんなあなたに朗報です！！

今年も待ちに待ったあのイベントがやって来ます。

高　・　専　・　祭　キタ－－－－－（゜∀゜）－－－－－ッ!!!!!

今年の高専祭のテーマは、『縁』です！今こうして同じ学校に通っているのも何かの縁です。

学科、学年、クラスの枠を越え、みんなで楽しめる祭りにしていきたい、と学生会役員が一丸となり、現在水面下で着々と準備を進めている次第であります。実は学生会というのは、高専の学生全体を意味しています。そこでみなさんにもひとつ大きな仕事を任せたいと思っています。

それは・・・・全力で楽しむこと！　以上！

全員で作って、全員で楽しんで、笑顔爆発の３日間にしましょう★

文化発表会

寮生会便り

寮祭について

3M　岸　和也

今年度も寮祭を６月22日と23日の２日に亘って無事に開催することができました。寮祭のメインステージのある寮食堂前では多彩なイベントが行われました。

少しイベントを紹介します。「これが出来たら売店券」と言う企画。このイベントには売店券を手に入れようと多くの寮生が参加しました。大人気の「ノミの市」では、寮で生活していくのに欠かせない洗剤やカップラーメンなどが格安の値段で売られ、大変な盛り上がりを見せました。体育館では「３on３」や「ソフトバレー」が始まり、スポーツの好きな寮生は技術を競い合っていました。寮食堂では男子寮のたこ焼きや、女子寮のクレープなどが作られていて、寮生がこぞって買っていました。イベントもクライマックスを迎えると、さらに盛り上がってきました。特に、全寮生で食べる焼肉や、豪華な景品の当たる大抽選会は盛り上がりました。夕食の後にある花火大会も先輩や後輩の関係を超えて、楽しくはしゃぎました。

こうして寮祭が無事に終わり、終わってみると少し寂しい気持ちになるのでした。

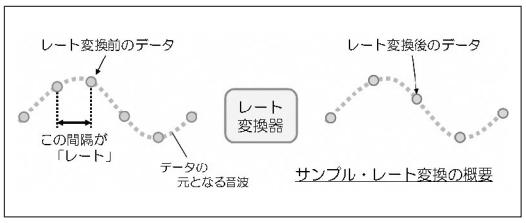
球技大会

3A　田中　良和

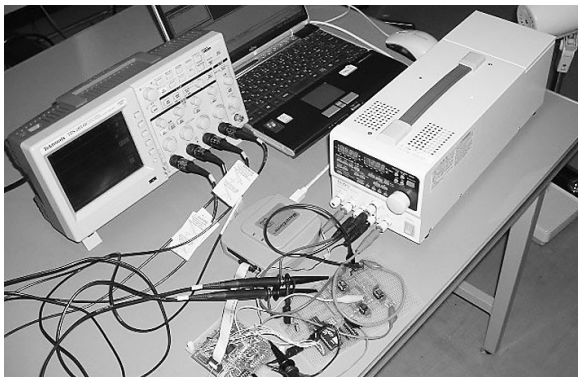
今年も毎年恒例行事球技大会を無事に開催することが出来ました。１年生にとっては初めての寮の行事です。そして毎年恒例の売店券をかけた戦いが始まります。やはり５年も寮にいると寮で鍛えたチームワークは群を抜いて素晴らしいものでした。

スポーツを通じて寮での縦と横の関係がより一層出来たのではないかと思います。また５年生にはとてもいい思い出になり１年生にはいい経験になったと思います。新しく寮という社会に来た１年生にはこのように責任感とチームワークを身につけてほしいと思いました。

研究紹介　電子制御工学科　井上　学　研究室



当研究室では、ディジタル・オーディオのサンプリング・レート変換器に関する研究と位相同期ループに関する研究に従事しています。


作成した回路の評価

ディジタル・オーディオでは、ある一定の間隔で音波をサンプリングしており、この間隔を「レート」といいます。一般に、携帯電話やポータブル・オーディオ・プレーヤの再生部では、固定のレートのデータしか再生しません。そのため、データと再生部のレートが異なる場合、両者を互換させる必要があります。その際に用いるのが、サンプリング・レート変換器です。また、このレートの間隔を機器の各部に伝える際に、位相同期ループが使われています。ただ、このレートの変換やレートの伝達の際に、ノイズが発生し、音質が劣化してしまいます。この劣化を最小限に抑える、そのような研究をしています。

研究紹介　物質工学科　里村　武範　研究室

当研究室では好熱菌と呼ばれる微生物から生産されるタンパク質の検索と産業への応用利用に取り組んでいます。好熱菌と呼ばれる微生物は近年、海底火山や温泉の熱水噴出口などの高温域から数多く見いだされています。

現在、工業的に利用されているタンパク質は我々と同じ常温域に生息している微生物が生産するもので長期利用や保存の点などに問題があり産業への応用利用は限られています。しかし好熱菌の生産するタンパク質は長期保存性はもとより、様々な化学物質や有機溶媒に耐性を持っているため、産業的応用利用において注目されています。そこで、山陰地方をはじめとする日本各地にある温泉のような熱水環境から好熱菌の分離、培養を行い産業利用において有用な微生物を探索しています。

温泉からのサンプリング

分離した菌の電子顕微鏡写真

研究紹介　専攻科２年生

回転する曲がり管内の流動挙動に関する研究

生産システム工学専攻　藤井　怜（早水研究室）

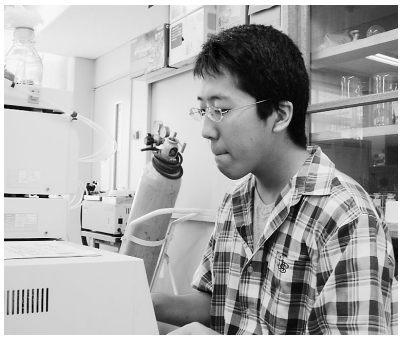
管壁が回転する曲がり管内では、管壁の回転と管内の圧力勾配によって特殊な流れが発生します。この流れはマイクロポンプなどへ応用できることから、流動パターンを明らかにする必要があります。そこで、本研究では、管壁が回転する曲がり管内に水と特殊な溶液を流し、レーザーで照射することにより、流れの可視化撮影を行なっています。撮影した画像を解析することで流れの速度、振動などを求め、発生条件の違いによる流れを比較・検討しています。

研究室の様子

鶏糞焼却灰からのリン回収について

物質工学専攻　泉　是良（竹中研究室）

鶏糞は『家畜排泄物法』により処理の適正化が義務付けられており、処理方法の一つに鶏糞を火力発電に用いて焼却するというものがあります。こうして得られる焼却灰は多くのリンを含んでいます。リンは循環型の資源であり、一度使用したリンが再び使える状態になるまで長い時間を必要とするため、現在では利用可能なリンの枯渇が懸念されています。本研究では焼却灰からリンをリン酸塩として回収する方法について検討しています。



トピックス

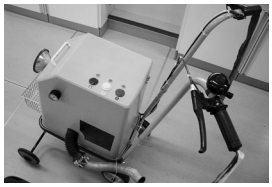
建築学科作品展「うみ・やま・まちのアトリエ」

夏休み期間中の８月29日～９月３日、米子市灘町の丸京庵市民ギャラリーにて「うみ・やま・まちのアトリエ」と題して建築学科学生の課題作品展示会を開催しました。建築学科では、中海の湖岸（うみ）、大山町の森林（やま）、米子の旧市街（まち）といった地元の地域資源を題材にした建築設計学習プログラムを組み立てています。今回は３年生の間伐材ベンチ、４年生の中海湖岸の美術館提案、５年生の商店街活性化提案「岡本喜八プロジェクト」を中心に、ベンチ作品や図面・模型の展示を行いました。展示計画は５年生の小宮山楓さんと錦織悠里さんが行いました。

（建築学科　西川賢治）

建築学科学生らが市民シネマ「梨の花は春の雪」美術製作へ参加

現在、公開中の淀江が舞台となった映画「梨の花は春の雪」に、実は、本校建築学科（以下Ａ科）の学生・教員らが美術製作として参加しました。



煙も吐く自走式手押し車

昨年の９月に撮影が行われたため、昨年８月下旬頃に、Ａ科西川賢治先生とＡ科OB岩田哲宏君と私の３名が主となって、劇中に登場する発明家が作った自走式手押し車、秘密の銃、軽トラの装飾、ワインラベルなどを睡眠不足になりながら夜な夜な製作しました。さらに、軽トラに付いているウグイスのぬいぐるみを、上田輝美技術職員を中心にOB大谷麻依子さん・石田一輝君・松本勇気君・森田大貴君・５年山崎恵さん・竹中おりゑさん・３年河副知佳さんが作成しました。主人公らが手にする架空の雑誌は、OB廣田晃一君がPCを駆使してデザインしました。他にも、レストランの木彫り看板、選挙事務所の横断幕、部屋の時間割表、表札などなど書ききれないほどの物品を５年小椋康司君・竹谷輝夫君・仲村友太朗君・中村慧君、OB前田佳寛君、専攻科OB中川剛君・川口洸葵君らが作成しました。特に専攻科の２人には、撮影現場まで足を運んでもらい、軽トラの装飾の仕上げなど幅広く協力してもらいました。また、建築学科の方々には軽トラ装飾の場所を提供していただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。

これら多数の製作物が劇中、次々と登場します。作品そのものも、期待以上の出来で、多くの方々から感動したとの感想をいただき大変好評です。是非とも会場に足を運んでご覧ください。なお、上映活動には、本校の映画鑑賞同好会にも手助けしていただく予定です。

軽トラ装飾打ち合わせ中

■今後の主な上映日時

10／20、11／１、11／26、12／14
「米子コンベンションセンター　小ホール」
１／19　「淀江文化センター さなめホール」
いずれの日も14：00～、16：30～、19：00～の３回上映
＊最新情報は、http://nashinohana-movie.com/をご覧ください。

（一般科目　田中　晋）

北欧スウェーデン、イェーテボリ大学に留学して…

2006年３月から一年間、スウェーデンのイェーテボリ大学に留学してきました。イェーテボリはスウェーデンの南西に位置し、車のVOLVOやカメラのHASSELBLADの本社がある人口50万人ほどの工業都市で、北欧では４番目の大きさの緑豊かなきれいな街です。よく、スウェーデンは豊かな国だといいますけど、まさにその通りの、ゆとりのある豊かな国でした。

まず、国土が日本の1.2倍ありますが、人口はおよそ900万人。国土の大部分が森林で、ゆとりのある環境に都市や生活の場が築かれています。スウェーデン人は、朝の８～９時に仕事をはじめ、午後４時にはみんな帰ってしまいます。家族や友人と一緒に過ごすことや、自分の時間をもつことをとても大切にしています。人生を楽しむことが一番大切なことで、“仕事は良い人生を送るための手段”と考えているようです。また、夏の休暇が１ヶ月半ぐらいあります。「しっかり休んで鋭気を養い、新たな力を得て仕事に臨むことで、よい仕事が生まれる」とは、お世話になったエリアッセン先生の言葉です。とにかく、しっかり休んで、効率よく気持ちよく働くというのが、スウェーデン流の仕事の仕方でした。

スウェーデンの住まいですが、ほとんどの人が別荘を持っています。週末や休暇に、豊かな自然に抱かれてゆったりとした時間を過ごすのが一般的です。イェーテボリ大学でポスドクをしている私と同い年（当時33歳）のソフィアさんは、イェーテボリの閑静な場所に自分のマンションを一室持っているのですが、新たに別荘を購入したばかりでした。同い年なのに、この差はなんだ？と思いました。給料に大きな違いはないようですが、どうも、スウェーデンでは住宅や建築の資産価値が日本ほどには下がらないようで、上手にきれいに管理すれば、買った時よりも高く売れるとのことです。ですから、頭金を払うような感覚で住宅が取得できるのです。うらやましい。

スウェーデンの良いところはまだまだたくさんあり、限られた紙面で伝えられないのが残念です。空間的にも時間的にも、またマネー的にもゆとりのあるスウェーデン。とても良い国でした。みなさんも是非訪れてみて下さい。

留学を終え、一年ぶりに日本に戻ってきた時、目に映る風景が少し新鮮に感じました。成田空港から電車で帰る途中のことです。車窓からスーツをきた青年が一生懸命走っている姿を見ました。なんでもない光景ですが、スウェーデンでは目にしなかった光景で、とても違和感を覚えました。日本の忙しさ、ゆとりのなさを象徴しているような気がしたからです。どうして日本はそんなに忙しいのか？帰国して半年たった現在、私もどっぷり日本の生活に浸って、スウェーデンでのゆとりある充実した日々の想い出も徐々に色あせてきています。何かと慌ただしい毎日ですが、スウェーデンで学んだ人生を楽しむヒントを少しずつ実践して、学生とともに“ゆとり”と“充実”が感じられるようにしたいなとひそかに思っております。

最後になりますが、多くの貴重な経験をすることができましたのも、留学に際してご支援・ご協力いただいた多くの方々のお陰によるものです。この場を借りて感謝申し上げます。

（建築学科　兼子朋也）

ロボコン校内大会

アイデア対決・全国高等学校ロボットコンテスト２００７に向けた校内大会が８月30日に開催されました。本年度のテーマであるロボット騎馬戦を３チームで競い合った結果、機械工学科、電子制御工学科の２チームが10月28日（日）に呉市で行なわれる中国地区大会に出場することになりました。（機械工学科　権田　岳）

出場ロボット：機械工学科　旗昇転決
電子制御工学科　ＳｔｒｕｍＫａｆｅｒ

プロコン予選

全国高等専門学校第18回プログラミングコンテストの予選（書類審査）が６月30日（土）に都立産業技術高専品川キャンパスで行われました。本校からは、課題部門に２作品、自由部門に２作品、競技部門に１作品をそれぞれ応募し、以下の３作品が予選を通過しました。本選は津山高専の主管校にして10月６日(土)・７日(日)に津山文化センターで行われます。(プロコン公式サイト: http://www.procon.gr.jp/)（電子制御工学科　河野清尊）

■課題部門　テーマ「子供心とコンピュータ」
「リトル・リトル・アドベンチャー　－動物視点・動作体感システム－」
５Ｄ野田祥子、５Ｄ村田大介、５Ｄ吉岡慎二、２Ｄ笠見康敏、指導教員　河野清尊

■自由部門
「折り紙おりまぅす　－折り紙作成支援システム－」
４Ｄ井口康啓、４Ｄ影山達也、４Ｄ金谷拓実、２Ｄ北村裕介、２Ｄ角田一樹、指導教員　河野清尊

■競技部門　テーマ「石垣工務店」
「導　－ｄｏｈ－」
コンピュータ同好会　２Ｄ左久間一幸、２Ｍ湊﨑拓也、２Ｅ澤下　陽、指導教員　倉田久靖

デザコン校内発表会

今年で第４回目となる全国高等専門学校デザインコンペティション（高専デザコン）は徳山高専が主管校となり、11月16～17日に山口県周南市で開催されます。

今年度は、人と人や自然と人間社会の「つながり」を大会メインテーマに、構造デザイン・環境デザイン・空間デザイン・ものづくりの４つの部門で高専生の創造性と技術力を競います。各部門は、「ブリッジコンテスト」、「みちのあかり－LED de Eco Road－」、「新まちなか居住施設－とぎれた「つながり」をとりもどす－」、「「ひと」と動物の「つながり」が見える動物園ファニチャー」というテーマで作品が募集されています。構造デザインは、校内審査で本戦に出場する２作品を決定しますが、その他の３部門は、１次審査で審査員が優秀な作品が選出し、本戦に出場できる作品が決定されます。７月11日には、建築学科教職員による予備審査で上位の評価を得た作品の校内発表会と、過去の高専デザコンで本戦出場の経験がある学生による講演を行いました。（建築学科　松本幸大）

■ 平成19年度行事予定（後期）■

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 月		1 木	金曜授業日	1 土		1 火	元　日	1 金		1 土	臨時休業
2 火		2 金	文化祭準備	2 日		2 水		2 土		2 日	
3 水		3 土	文化の日 ↑文化祭	3 月	↑後期中間試験	3 木		3 日		3 月	
4 木		4 日	↓文化祭	4 火		4 金		4 月		4 火	
5 金		5 月	片付け	5 水		5 土		5 火		5 水	
6 土		6 火	月曜授業日	6 木		6 日		6 水		6 木	
7 日		7 水		7 金		7 月		7 木		7 金	
8 月	体育の日	8 木		8 土		8 火		8 金		8 土	
9 火		9 金	中国地区大会（冬季）	9 日		9 水		9 土		9 日	
10 水		10 土		10 月		10 木		10 日		10 月	
11 木		11 日		11 火		11 金	学習到達度試験	11 月	建国記念の日	11 火	
12 金		12 月		12 水		12 土		12 火	↑学年末試験	12 水	
13 土		13 火		13 木		13 日		13 水		13 木	
14 日		14 水		14 金		14 月	成人の日	14 木		14 金	
15 月		15 木		15 土		15 火		15 金		15 土	
16 火		16 金		16 日		16 水		16 土		16 日	
17 水	↑特別行事	17 土		17 月		17 木		17 日		17 月	
18 木		18 日		18 火		18 金		18 月		18 火	
19 金		19 月		19 水	スポ・レク大会	19 土		19 火	終業式	19 水	
20 土		20 火		20 木		20 日		20 水	↑補講期間	20 木	春分の日 ↑学年末休業
21 日		21 水		21 金		21 月		21 木		21 金	
22 月		22 木		22 土		22 火	推薦入試	22 金		22 土	
23 火		23 金	勤労感謝の日	23 日	天皇誕生日	23 水		23 土		23 日	就職懇談会（5年）
24 水		24 土		24 月	振り替え休日	24 木		24 日	入試（学力）	24 月	
25 木		25 日		25 火	↑冬季休業	25 金		25 月	入試（面接）	25 火	卒業式
26 金		26 月		26 水		26 土		26 火		26 水	
27 土		27 火		27 木		27 日		27 水		27 木	
28 日		28 水		28 金		28 月		28 木		28 金	
29 月		29 木		29 土		29 火		29 金		29 土	
30 火		30 金		30 日		30 水				30 日	
31 水				31 月		31 木				31 月	

地域交流

リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう

公開講座

技術教育支援センター　上田　輝美

８月４日（土）に、本校で公開講座「リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう」を実施しました。

小学３、４年生18名がアイデアを生かし、段ボールなど普段はゴミとなってしまう不用品を使って、オリジナルな雑貨を作り、工作を通して環境問題を考える楽しい講座となりました。応募開始数時間で定員となり、また、当日の見学者が多く、当初見込んだ参加人数の倍になる等、リサイクルへの関心の高さにスタッフ一同驚きながら、初めての講座を無事終了することができました。

最後に、本講座の開催にあたり、諸手続きや部屋の提供などでお世話になった本校関係者ならびに、材料をご提供下さいました多くの教職員の皆様に、この場をかりて厚くお礼申し上げます。

とっとり花回廊で「天体望遠鏡工作教室」を開催しました

一般科目　竹内　彰継

７月28日（土）にとっとり花回廊で「天体望遠鏡工作教室」を開催しました。これは昨年度から始まったジョイント講座のひとつで、小学生とその保護者13組の参加がありました。また、本校科学部学生も補助員として参加しました。

講座ではまず望遠鏡キットを作ってもらいました。そして、それに本校の冷却ＣＣＤカメラをとりつけて月を撮像し、それをプリンタ出力して受講生全員にプレゼントしました。さらに、私の20cm反射望遠鏡にＣＣＤカメラをとりつけ、プロジェクタで月や木星の画像をスクリーンに映し出し、見所を説明した後に観望してもらいました。当日は決して観測日和ではありませんでしたが、月のクレーターも見え、花回廊に歓声があがりました。

受講生が工作した望遠鏡にCCDカメラをとりつけて撮像した月

「中学生のためのプログラミング入門（米子高専RobocodeCup開催！）」を終えて

公開講座

機械工学科　大塚　宏一

８／24、25の２日間に亘り中学生を対象とした公開講座「中学生のためのプログラミング入門（米子高専RobocodeCup開催！）」を図書館情報センターで開催しました。学習用ツールとしてRobocodeというロボット対戦シミュレータを用い、受講生にロボットの動きをプログラミングしてもらい、他の開発者が作成した敵ロボットを相手に試合を行ってもらいました。試合では独創的な動きをするロボットが数多く見られ、試合を盛り上げてくれました。今後も図書館情報センターでは情報教育の一環としてこのような講座を計画していく予定です。

本講座を開催するにあたりご協力を頂きました本校図書館情報センターの教職員の方々および補助学生の面々に深くお礼を申し上げます。

「こども科学体験教室」「サイエンス＆ものづくり体験フェア」

出前講座

一般科目　田中　晋・越智　信彰

ここ数年、教員が小学校や公民館などに出向き、地域の子供達に科学の楽しさを体験してもらう教室を積極的に行っています。「こども科学体験教室」は教室や公民館などでの一斉形式、「サイエンス＆ものづくり体験フェア」はホールや体育館など広いスペースでのブース形式で、様々な実験（液体窒素であそぼう・科学マジック・真空実験等）に子供達は目を輝かせながらワイワイと楽しく取り組んでいます。８月７日に淀江文化センターで行ったイベントでは、受付開始と同時に定員の120名が埋まり、さらに100名位の方々をお断りせざるを得ないという盛況ぶりでした。

今年の夏休み期間には、米子市内を中心に約20回の教室を開催し、たくさんの子供達が参加してくれました。今後、さらに充実させていく予定ですので、より多くのみなさんの参加をお待ちしております。

夏季休業中の地域貢献活動実施状況

	イベント名	開催期間	会場	参加者数
公開講座	親子ふれあい科学教室	7/22	本校	23
	中学生のためのやさしい電子制御回路教室	7/25, 31	倉吉未来中心、県民文化会館	9
	初心者のためのパソコン教室	8/2～8/27	本校	14
	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう	8/4	本校	18
	エンジョイ科学館	8/6	本校	34
	レゴ（R）でレスキューロボットを作ろう	8/11, 12	本校	12
	金属のふしぎ体験	8/22	本校	15
	中学生のためのプログラミング入門	8/24, 25	本校	20
出前講座	こども科学体験教室	7/14, 16, 26, 27, 29, 30 8/2, 6, 8, 17, 18, 22, 24, 26, 28 9/1	住吉小、彦名小、中浜公民館、赤江小、福生東公民館、飯梨交流センター、義方小、県公民館、名和公民館、福生５区公民館、あいみ児童クラブ、福米西校区子供会　ほか	各15～50
	サイエンス＆ものづくり体験フェア	7/29, 8/5, 7, 22	鳥取砂丘こどもの国、淀江文化センター、誠道公民館、余子公民館	各20～200
	世の中で活躍しているロボットたち	8/2	中浜公民館、彦名小学校	62
	ロボットを作ろう！！	8/5	宇田川分館	20
ジョイント講座	天体望遠鏡工作教室	7/28	とっとり花回廊	27
	夏休み自由工作	8/5, 21	米子市児童文化センター、淀江文化センター	59
	夏休み創作工作	8/18, 19	米子市児童文化センター	24
	夏休み米子こどもの科学教室	8/19	米子市文化ホール	150
	骨密度診断と転倒防止	9/1	米子市公会堂	35

編集後記

紙面に関するご意見ご感想を、メール(hikona@yonago-k.ac.jp)にてお寄せ下さい。今年度の編集委員は、越智(G)、加藤（G)、田口(A)、山田(A)の４名です。

※記事中において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…一般科目、S…専攻科

例えば、「１M」は機械工学科１年生を表しています。

発　行：米子高専広報委員会
〒683-8502　鳥取県米子市彦名町4448　TEL：0859-24-5023　FAX：0859-24-5029
E-mail：hikona@yonago-k.ac.jp　ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/hikona/　印刷：(有)米子プリント社
R100 古紙配合率100% 再生紙を使用しています。